



耕心 ~夢追いかけて~

佐世保市立吉井中学校
学校だより 第20号
文責 校長 川口 貴晴
令和2年7月9日(木)発行

【学校教育目標】自ら生きる力を培う生徒の育成
【めざす学校像】生徒一人ひとりの夢と志を育む学校
【一徳運動】「みそあじ運動（みなり・そうじ・あいさつ・じかん）」

中

7月のウェルカムボード



美術部が、今月も立派なウェルカムボードを制作してくれました。毎月、生徒や保護者の目を楽しくさせてくれています。今回も細部にわたり、丁寧に創られています。お近くにお越しの際は、どうぞお立ち寄りになって力作をご覧ください。また、6月の行事の写真もモニターで上映しています。こちらも十分に楽しめますよ！

ご協力に感謝いたします！

先日の豪雨の際は、緊急の連絡にもかかわらず、迅速かつ的確に連絡網等のご協力をいただき、誠にありがとうございました。本来なら電話連絡の使用は必要なかったのですが、今回の豪雨の警戒レベルの高さから判断して、「安心メール+本校HP」だけでは、「もしかして連絡が伝わっていないかもしれない」などの事態を想定して、「念には念を入れて」との思いから電話連絡もさせていただきました。出勤途中でご迷惑をおかけしたご家庭もあったかと思います。申し訳ありませんでした。生徒の安心・安全第一からの措置であったとご理解ください。

なお、今後も天候不順の状態が続く可能性がありますので、改めて以下のことをお願いいたします。

●悪天候で翌日の登校が危ぶまれる予報等が出た場合は、前日から安心メールにて翌朝に連絡をする旨の予告をいたしますので、心がけてください。

●当日の対応については、遅くとも7：00までには連絡をいたしますので、安心メールの確認を確実にお願いします。HPでも連絡しますが、時間がかかる可能性がありますので、安心メールが早く確認できます。

●登校する際に、天候の急変などで、登校が危険だと判断した場合は無理して登校せず自宅待機してください。その際は、必ず学校に連絡をください。

●校区内や通学路上で「がけ崩れ」や「冠水」などの被害がある場合も学校にお知らせください。

●何事においても判断が難しい場合は、学校まで遠慮なく連絡ください。（64-3245）

トマトとピーマン

HPでも紹介したように、先日の豪雨時は、水没してしまった「トマトとピーマン」ですが、豪雨にも負けずに実を大きく成長させています。ピーマンはお店で売っているくらい大きさです。自然の生命力はすごいです。



吉井中学校！いいねっ！



「いいね！」の第13回目です。しばらく「いいね！」をサボってしまい、申し訳ございません。

〔いいね！88〕1年2組男子：黄桃を落とした生徒に私が黄桃をあげると、「先生、桃いりませんか？」と渡してくれた。本人はじゃんけんもしていた生徒だったので、優しい子だなと感じたし、私自身もとてもほっこりしました。

〔いいね！89〕2年2組男子4名：3年生の教室へ授業に向かっていると、後ろから「おはようございます。」と大きな声であいさつをしてくれた。今年は2年生への授業へ行かないので、声をかけられるとうれしい気持ちになります。

〔いいね！90〕1年2組たくさんの生徒：着席を呼び掛けてくれる生徒がいます。帰りに窓閉めなどを自主的にしてくれる生徒が増えました。友達の係の仕事の手伝いをしたり、専門部全員で取り組んだりしていて、人のために動いてくれる生徒が多いなと思います。

〔いいね！91〕1年2組男子：掃除の時間、玄関前の掃除を担当している男子生徒が、電話ボックス横にある棚が汚れていましたが、その棚の上部から中まできれいに拭きあげてくれました。掃除に取り組む姿、立派でした。棚もきれいになりました。いいね！

〔いいね！92〕2年生男子ソフトテニス部：雨で外が使えるか微妙な時に、「先生、練習したいので、水とりをして練習してもいいですか。」と言ってきた。やる気を感じられて、これからが楽しみになりました。強くなりますように！

7/10から夏の交通安全県民運動です



明日7月10日（金）～19日（日）まで、夏の交通安全県民運動が始まります。スローガンは「スマホより横断歩道の 僕を見て」です。これは、自転車の運転者に限ったことではありません。自転車を運転している生徒の皆さんにも関係のあることです。スマホを見ながらの自転車運転の危険度の高さは、容易に理解できると思います。皆さんが安心・安全なのが第一ですが、皆さんも加害者になりうる可能性もあるということを認識してください。吉井中の生徒全員と学校に関わる全ての人の交通安全を心から願っています。

お世話になっている方々の紹介

今回は、学校司書の山口美恵子さんを紹介します。（自己紹介のメッセージです。）

◆「学校司書」の山口美恵子さん



吉井中学校は2年目になります。中学生といえ、思春期を迎える年頃です。部活の先輩・後輩や友だちという様々な人間関係の中で悩みを抱えることも多くなります。誰かに話したり、話してもらったりしても解決できない悩みを、本を通して少しでも解決の糸口にしてもらえたらと思っています。本というのは、心を落ち着かせ、自分の心を見つめるきっかけにもなります。吉井中学校の子どもたちが、相手の心の中を想像し、立場を理解できるようにお手伝いをしていきたいです。

図書の本を借りよう！ 読もう！



図書の貸し出し冊数は、H30年度が1,932冊、R元年度が2,496冊でした。今年度は6月末で、わずかに186冊です。たしかに、今年度は新型コロナウイルスの影響で、長い休校があったので仕方がない部分もあったと思いますが、ちょっと少ない気がします。

山口司書さんもメッセージに書いているように、本は中学生のあなたたちに多くのものや思いがけないヒントを与えてくれます。また、本は私たちが経験したことのない「宇宙」や「海底」「未来」「過去」「恐竜の世界」「死後の世界」等々いろんなことを間接的に経験・体験させてくれる優れものです。そして、何といても本は知識の宝庫です。スマホなどが普及して、瞬時に情報を得られる便利な時代になり、活字離れが叫ばれて久しくなりましたが、本を手にとって読んでみてはいかがでしょうか。スマホのようにあっという間に情報を手に入れることはできませんが、頭の中であらゆることを考えたり、自分で場面や景色を想像したりすることで思考力や空想力、そして語彙力（ごいりょく）が確実に増していきます。

本校には、給食の準備時間のわずかな時間でも惜しんで読書をしている生徒がいます。1日数分の読書でよいので継続していくことで、とてもよい力がつくと思いますよ。最初は、どんな本でもよいので、とにかく始めてみませんか。何でも始めてみることで、そうしないと何も始まりません！何も起こりません！チャレンジ！



